

NEWS

2013 年 1 月 3 日(木)

Page: 2

FOR USE AS DESIRED



【本件に関するお問い合わせ先】
社団法人日本アメリカンフットボール協会
TEL:03-3450-9360 FAX:03-3450-9361
広報担当:清水 TEL:090-7241-7556
E-mail:press@americanfootball.jp
Web:www.americanfootball.jp

報道関係各位

アメリカンフットボール日本選手権『プルデンシャル生命杯 第 66 回ライスボウル』 ーオービックスーガルス、史上 2 チーム目の 3 年連続日本一達成ー

1 月 3 日(木)、東京ドームにおいてアメリカンフットボール日本選手権『プルデンシャル生命杯第 66 回ライスボウル』が行われ、社会人王者のオービックスーガルスが試合残り 34 秒からの逆転劇で、追いつがる大学王者の関西学院大学を 21 対 15 のスコアで降し、史上 2 チーム目となるライスボウル 3 連覇を達成した。

社会人代表チームは、先月 17 日に行われた社会人日本一決定戦、鹿島ディアーズとの第 26 回ジャパンエックスボウルを含め、この試合まで公式戦を 35 連勝中とまさに“無敵”の道を行くオービックスーガルス(以下、オービックス)。対する学生代表チームは、先月 16 日に行われた第 67 回甲子園ボウルで法政大学を破り、2 年連続 25 回目(大会最多更新)の学生日本一、そして 2 年連続 8 回目のライスボウル出場を決めた関西学院大学(以下、関学大)。

38 対 28 でオービックスが関学大を降した昨年のライスボウルと同一カードとなった試合は、開始早々に王者オービックスが最初の攻撃シリーズで幸先よく先制の TD を奪うも、その後は両チームとも攻めあぐね、膠着状態が続く。得点が動いたのは前半残り 1 分 41 秒からの関学大の攻撃。関学大はエース QB 畑 卓志郎(4 年)と WR 南本 剛志のホットラインのパスを中心に相手陣 25 ヤードまで攻め込むと、第 4 ダウン 6 ヤードの場面で FG フェイクを敢行。ホルダー 櫻間 康介(4 年)から WR 南本への 22 ヤードパスが決まり、一気にゴール前 3 ヤードへ。最後は RB 鷺野 聡(2 年)が RB 望月 麻樹(4 年)への 3 ヤード TD パスを決め、同点に追いつき、前半を終える。

後半はさらに壮絶な点の取り合いに。オービックスは関学大の後半開始 1 プレイ目をインターセプトすると、このチャンスを QB 菅原から WR 木下 典明への 20 ヤード TD パスにつなげ、14 対 7 といきなり勝ち越しに成功する。その後、両チームとも 1 本ずつ FG を外し、試合は勝負の最終第 4Q へ。

第 4Q 序盤、オービックスは相手ゴール前 4 ヤードまで攻め込み、ダメ押し点を奪うチャンスをつかむが、ここで痛恨のファンブルロスト。昨年の雪辱に燃える関学大は、次の攻撃で大きな勝負に出る。まず自陣 18 ヤードからの第 4 ダウン 3 ヤードの場面で、パントフェイクを敢行。WR 小山 泰史が 11 ヤードを走り、ファーストダウンを獲得。さらに相手陣 16 ヤードまで攻め込んだ後の第 4 ダウン 7 ヤードの場面でも関学大はギャンプルを敢行。ここでも QB 畑がスクランブルから 11 ヤードを走り、ドライブを延命させると、最後は RB 望月が 2 ヤード TD ランを決め、1 点差に追い上げる。そして TD 後、関学大はこのシリーズ 3 度目のギャンプルに打って出る。同点のキックを狙わず、2 点コンバージョンを選択すると、QB 畑から RB 望月、そして RB 望月から WR 小山へパスをつなぎ、ついに 15 対 14 と逆転に成功する。

焦るオービックは再逆転を狙う続く攻撃で QB 菅原が関学大 DB 鳥内 将希(3年)にインターセプトを献上。これで万事休すかと思われたオービックだったが、ここから社会人の最後の意地を見せ、続く関学大の攻撃を封じると、残り試合時間 34 秒。相手陣 49 ヤードからの攻撃で、QB 菅原から WR 清水 謙、WR 木下への 2 本のパスで一気にゴール前 1 ヤードに進入すると、最後は RB 古谷が飛び込み、土壇場で再逆転に成功する。

第 55 回大会の初制覇以来 11 年ぶり 2 回目のライスボウル優勝を目指す関学大に残されたのは最後の 1 プレイのみ。ここで逆転の TD パスを狙った QB 畑のロングパスは失敗に終わり、万事休す。この瞬間、シーガルズの 3 年連続 6 回目のライスボウル優勝が決まった。史上初の社会人 3 連覇を達成したシーガルズは、社会人代表チームとしては史上初のライスボウル 3 連覇も達成。第 42、43、44 回大会を制した日本大学に次いで史上 2 チーム目の偉業を達成した。

なお、この試合の MVP、ポール・ラッシュ杯にはオービックの QB 菅原 俊が選出された。菅原のポール・ラッシュ杯受賞は 3 年連続で、チームに続き、個人でも史上初の快挙を達成した。